


全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾19FAX第52号
(宛先)	2020年 3月 4日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) <div style="text-align: right;">  全国港湾書記局 </div>
(件名)	

20 港湾春闘情報(1)

(本文) 20 港湾春闘は2月20日(木)に第1回中央港湾団交を開催し要求書を提出した。第2回中央港湾団交は現況を鑑み延期となった。今後の交渉日程の先行きが見えませんが、継続課題(安全対策、5.9協定完全履行、指定事業体等)については、個別の追及することとしています。3月4日現在の単組の取り組みを下記します。

1. 各単組の取り組み状況について(3月4日現在)

- (1) 全港湾 基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げを求め、統一回答指定日は3月16日(月)を基本とする。
- (2) 日港労連 基準内月額賃金20,000円、制度賃金6%引き上げ(基準内として)を要求し、2月20日に要求書を提出した。第1回港荷交渉で「定年を2020年4月1日より62歳とする」について、仮確認書を締結した。
- (3) 検数労連 本給一律20,000円要求と産別協定完全履行を求め、2月12日に要求書を提出した。第2回交渉を2月25日に開催し、春闘に係る基礎資料の提出、コロナウイルス対策を求めた。なお、次回団交は3月11日を予定している。
- (4) 検定労連 海事検定職組一人平均18,561円(6%)を要求、シンケン労組組合員一人平均16,663円(6%)を要求し、2月25日に要求書を提出した。
- (5) 全倉運 「5%+α」を統一要求基準とし、統一要求書の提出日は3月11日(水)、統一回答指定日を3月25日(水)とする。
- (6) 大港労組 基準内賃金月額20,000円を要求。2月26日(木)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。今回は3月13日を予定している。
- (7) 全日通 2月10日(月)に第1回団交を開催、要求書を提出した。賃金について11,000円の増額、一時金は、年間120万円を要求した。

以上